

一般質問・質疑

9月13日、14日、15日の本会議では、15人の議員が質問に立ち、子どもや障害のある人への支援、学校の教育環境、大規模災害に対する備えなどについて、市の見解を求めました。

なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から7面に掲載しています。

発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

井藤圭湊(真誠会)

①中学校給食の開始

松井久美子(公明党)

①議案第75号 平成28年度明石市一般会計補正予算(第2号)のうち、こどもの居場所創出事業 ②食品ロス削減への取り組み ③明石DMO(観光地域づくり組織)の設立を

永井俊作(未来市民)

①働き方改革と長時間労働の是正 ②同一労働同一賃金 ③最低賃金の引き上げと委託職員の賃金 ④東部中学校給食センター

楠本美紀(日本共産党)

①子ども・子育て

尾仲利治(民主連合)

①明石の子ども達の状況 ②子ども達が生き生きと学校生活を送れる環境づくり ③JT跡地利用 ④明石市が設置しようとしている児童相談所

三好宏(真誠会)

①シティセールスの推進 ②人口増に伴う懸案事項

国出拓志(公明党)

①防災 ②西明石

出雲晶三(未来市民)

①南海トラフ地震に対する市役所本庁舎 ②小規模小学校 ③山陽電鉄連続立体交差第2期事業 ④明石川の治水とJR橋梁

宮坂祐太(民主連合)

①コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成 ②地籍調査

寺井吉広(真誠会)

①災害対策 ②介護保険制度改正による本市の対応

中西礼皇(未来市民)

①明石港の利活用 ②学校教育の充実 ③学校給食費

北川貴則(未来市民)

①福祉の充実 ②「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理 ③市民病院 ④泉市政の新たな課題と問題点

丸谷聡子(未来市民)

①兵庫ゆずりあい駐車場(パーキングパーミット) ②(仮称)明石市こども総合支援条例 ③地域エネルギー政策推進に向けた取り組み ④農業振興とため池機能の見える化

家根谷敦子(スマイル会)

①ホームドアの設置 ②本市が取り組んでいる障害のある人への支援 ③新しくオープンする図書館の設備

大西洋紀(青風会)

①中核市移行に伴う児童相談所設置

シティセールスの推進 明石の魅力を全国へ B-1グランプリに出展

問 都市間競争が厳しくなる中、まちの魅力を伝えるためのシティセールスの推進が不可欠と考えるが、市の取り組みを聞く。

答 12月に東京で開催される2016B-1グランプリに、インプレスペシャルin東京・臨海副都心は、首都圏をはじめ全国各地に広く明石の魅力を発信する絶好の機会であると捉えている。そのため、明石観光協会、あか



たこリピック in 明石

し玉子焼ひろめ隊などと連携しつつ、明石の印象が一人でも多くの人の心に残るような仕掛けづくりを検討しているところだ。

また、市長によるトップセールスは有効な手段と考えており、ラジオ番組への生出演や、市内外で開催されるイベントにも市長が自ら出向いて、明石の物産や特色ある施策を積極的に発信してきた。

さらに、シティセールスを効率的に推進していくためには、マ

JT工場跡地 市は取得に前向き 民間活力の活用も

問 JR大久保駅南地区のJT(日本たばこ産業)工場跡地は市が取得すべきと考えるが、市の考えを聞く。

答 JT工場跡地については、今は、時機を失することなく取得に向けて前向きに取り組んでいく

問 本市では、小中学校の普通教室へのエアコン設置が平成28年度から30年度にかけて予定

考えた。JT側とは密に情報交換を行っており、今後、正式に売却の打診があった場合には、速やかな対応が行えるように準備を進めている。

JT工場跡地の開発は、人口増とまちの活性化に取り組んでいる中、市全体のまちづくりにおいても非常に重要なものと考えている。

土地利用については、周辺環境と調和しながら、まちのさらなる活性化と市民サービスの向上が期待できる開発を行うため、公共利用と合わせて民間活力を生かした良好な住環境



新しい大久保のまちなみに期待

また、取得には相当の資金が必要となるが、できるだけ市の負担を軽減できるよう、民間活力をはじめ、国や関係機関等からの支援が受けられないか検討も行っていく。

問 小規模小学校(大観・王子・貴崎)の問題点と対策について、本市の考えを聞く。

答 全学年で6学級以上11学級以下の小規模小学校については、本市では、大観小学校は普通学級が全体で9学級と

直しを考えているようだが、その具体的な内容を聞く。

答 今年度は、中学校の普通教室と音楽教室に設置を行っており、本年11月末には全校で工事が完了する予定だ。また、小学校についても29年度から30年度に設置を完了する。

エアコンを設置することで、近年の夏の厳しい暑さで教室内の室温が上昇することによる児童生徒の体調面を

なり、6学年のうち半数が1学年1学級である。今後の児童数の推計からも早期に対策の検討が必要となっていく。また、王子小学校、貴崎小学校でも、1学年1学級の学年が生じており、地域住民や保護者等からの要望を踏まえ検討する考えだ。

小規模小学校では、きめ細かな指導が行いやすいという面もあるが、児童が集団の中で

多様な考え方に触れる機会が得にくく、運動会などの集団活動に制約が生じやすいなどの課題がある。その対策としては、通学区域の変更や学校の統合等で学校規模の適正化を図るといった運営面の対策のほか、異なる学年集団での協働学習や体験学習、また他校との合同授業といった学習面での対策が考えられる。



快適な環境で集中力アップ

具体的な日数や時期などは、今後、県内の他市町での状況を参考にしながら検討していく考えだ。

エアコン設置による夏休み短縮 学力向上に向け検討

ケティンクなどの専門的なスキルや、マスクミなどのネットワークを持った人材が必要であると認識しており、現在、大手広告代理店との間で、本市への社員の出向について協議を重ねている。

された。JT側とは密に情報交換を行っており、今後、正式に売却の打診があった場合には、速やかな対応が行えるように準備を進めている。

JT工場跡地の開発は、人口増とまちの活性化に取り組んでいる中、市全体のまちづくりにおいても非常に重要なものと考えている。

土地利用については、周辺環境と調和しながら、まちのさらなる活性化と市民サービスの向上が期待できる開発を行うため、公共利用と合わせて民間活力を生かした良好な住環境

今年度は、中学校の普通教室と音楽教室に設置を行っており、本年11月末には全校で工事が完了する予定だ。また、小学校についても29年度から30年度に設置を完了する。

エアコンを設置することで、近年の夏の厳しい暑さで教室内の室温が上昇することによる児童生徒の体調面を

心配が解消され、学習面での集中力や持続力の向上も期待できる。そこで本市においても学力向上や授業時間の確保に向け、夏休み期間の短縮が必要とされている。現在のところ、まずは中学校について、エアコンの使用が可能となる29年度の夏季休業から期間の短縮を考えている。

多様な考え方に触れる機会が得にくく、運動会などの集団活動に制約が生じやすいなどの課題がある。その対策としては、通学区域の変更や学校の統合等で学校規模の適正化を図るといった運営面の対策のほか、異なる学年集団での協働学習や体験学習、また他校との合同授業といった学習面での対策が考えられる。